

仙台市宮城野障害者福祉センター 「上級救命講習会」を開催しました

令和5年7月6日
仙台市宮城野障害者福祉センター

去る令和5年7月3日(月)、仙台市防災安全協会救急サポートセンター指導のもと、当センター3階研修室1にて「上級救命講習」を受講しました。今回は職員13名が参加しました。

仙台市では救急車要請から現場到着まで平均約10分を要し、救命率は10分間で急激に減少するとの話を聞き、いざそのような救命の場面に遭遇した際、バイスタンダーとしての役割がより重要であることを再認識する機会となりました。

講習では、AEDの使用方法や必要性を改めて認識すると共に、傷病者を発見した際の安全確認の重要性や、体温の保温に努めること、窒息予防の為に体位を管理することを学びました。

また、熱中症やアナフィラキシーショックなどの応急処置についての講義もあり、知識をより深めることができました。

最後には、いざという時に119番通報と心肺蘇生法の一連の流れをわかりやすくナビゲートされるスマホアプリ「救命ナビ」の紹介もあり、有事に備えて日頃から準備をする大切さを感じました。

今後も上級救命講習会を継続的に実施し、当センター職員の連携強化を図りつつ、安心・安全な施設運営とサービス提供に努めて参ります。

